

生体ボリュームデータに基づくネットワーク型 VR 手術手技教育訓練システム（三菱プレジジョン株式会社）平成 16 年度採択評価結果

整理 番号	評価点		総合所見
16 - 04	技術 評価	41	<p>本研究課題では、CT や MRI などから得られる 3 次元ボリュームデータをもとにして、個別の患者のさまざまな症例について術前計画用手術シミュレーションや訓練用手術シミュレーションなどの先端医療用トレーニングを行うシステムの実現を目標としており、現代社会がかかえる医療の本質的な問題を捉えた、優れた目標設定であると判断される。このような目標に沿ったシステムの実用化が実現すれば、今までにない先端的医療支援技術として、国民一般へ広範な影響を及ぼすことが期待できる。提案者らは、これまでに 3 次元ボリュームデータの処理・表示技術に関して十分な研究実績を有しており、本研究課題を遂行する上での研究体制もおおむね妥当であると考えられる。</p> <p>事業化について、本研究課題で開発を目指す先端医療トレーニングシステムが製品としての市場性、事業性を持つためには、高い臨場感の実現レベルが要求される。本研究開発成果がそのレベルをクリアでき、市場開拓できれば、事業化の実現性は高いが、技術力は非常に高いものを持っていると判断できるので、製品化はクリアできると考えられる。新しい仕組みを導入することへの医療現場の抵抗感や海外医療機関の導入意欲について具体的な事前調査はなされていないが、本研究開発成果は社会的にも大きな問題になっている医療事故対策に魅力的な商品であり、医療機関が患者の立場に立った診療を志向する傾向にある中で、今後導入されていくことが大いに期待できる。なお、国外の売上高については、導入意向などの調査を通じて適切な市場把握を行ない、販売戦略を工夫することで、より一層魅力的な市場とする余地が残されていると考えられる。</p>
	事業 化 評価	39	
		80	